

事務事業名 原爆被害者の会補助事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：152

施 策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-04-128
基本事業：	03	地域福祉を支え、推進する人や組織づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標	福祉委員の数 地域での福祉活動に参加している市民の割合 福祉ボランティア数 コミュニティ単位で組織された民生委員協議会の数		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～			新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
特定非営利活動法人 筑紫原爆被害者の会				筑紫原爆被害者の会の運営費を補助する。 筑紫地区5市統一の補助額として1会員当たり1,000円を補助している。 【筑紫原爆被害者の会の主な活動】 ・広報誌の発行 ・小学校を対象として、実体験を話す語り部活動 ・追悼式等式典への参加 ・原爆被害者及びその家族に対する相談事業						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
原爆被爆者の会の活動を支援することにより、市民に対し原爆の恐ろしさ、平和の大切さを語り継ぐことができる。										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
筑紫野市の会員数			人	127	112	112	104			130
市内小学校での語り部活動回数			回	5	6	7	7			10
5．コスト										
事業費			計	千円	127	112	104	97		
			国	千円	0	0	0	0		
			県	千円	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0		
			一般	千円	127	112	104	97		
正職員人工数			人工	0.01	0.04	0.04	0.03			
正職員人件費			千円	77	313	321				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)			千円	204	425	425	97			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）			筑紫野市の会員数は、高齢化により減少している。 市内小学校の語り部活動回数は、新型コロナウイルス感染症の影響で一時減少したが、増加してきている。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	会員数が減少傾向とはいえ、筑紫地区各小学校への語り継ぎ証言は、戦争の悲惨さを伝え、平和を維持していく上で重要である。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし							
成果向上余地	小さい									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					■備考・特記事項 or 進行管理欄					
原子爆弾による被害者及びその家族で構成する「筑紫原爆被害者の会」の活動を支援する目的として、補助金を交付している。補助金額については筑紫地区で決められた算出方法となっている。近年高齢化により会員が減少している。										